

明倫の風

明倫小 校長室だより 第4号
平成28年9月14日(水)発行
校長 椿 義 憲

「チーム〇〇」「チーム明倫」～心をひとつに～

今年の夏は、ブラジルのリオデジャネイロ・オリンピックでの感動がいっぱいでした。今もパラリンピックが行われています。

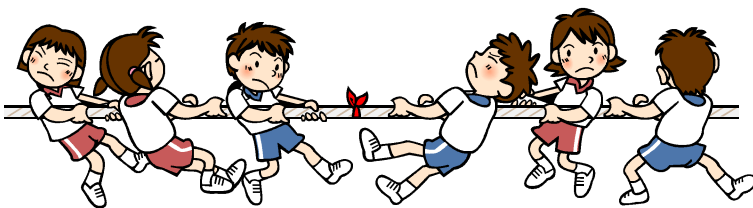
一人ひとりの選手の“最後まであきらめない”姿はもちろんのこと、チームがひとつとなった頑張りも見事であったと思います。

陸上競技400mリレーでは、ウサイン・ボルト選手がいるジャマイカチームが優勝しました。日本チームは、ジャマイカチームに続き、アメリカやカナダチームなど強い国を押さえて準優勝しました。

日本チームの一人ひとりの選手の100mの記録は、全て10秒台であり、9秒台の選手がそろそろジャマイカやアメリカ、カナダチームに比べると、決して速いとは言えませんでした。

しかし、日本チームは、バトンパスを工夫しながら練習に練習を積み重ねて試合に臨み、見事、準優勝となり銀メダルを獲得しました。

一人ひとりの力は小さくても、チームとして、互いに力を合わせ、心をひとつにすることで、とても大きな力になることを証明したように思います。



2学期は、運動会や秋の遠足、わくわく明倫発表会に、さらに、5、6年生の皆さんは、陸上記録会、音楽会、

宿泊学習など多くの行事が待ち受けています。

皆さんは、それぞれの行事で、「赤組」や「白組」というチームで、「学級」というチームで、「学年」というチームで、そして「明倫(小学校)」というチームで、力を発揮する場面が数多くあります。

たとえ、一人ひとりの力は小さくても、力を合わせると大きな力となります。明倫小学校は680人というたくさんの友達がいます。チームとして、力を合わせれば、680人以上の素晴らしい力になるはずです。

まずは、運動会での「チーム赤組」、「チーム白組」の力の見せ所です。